

12月4日(月)

霊を元気づけられる

今日の日

2023年12月4日～12月10日

翻訳 ハンコック真由美

編集 野口恵美子

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

*翻訳者・編集以外でも協力して下さっている兄弟姉妹方がいます。

御茶の水キリストの教会

聖書朗読 テサロニケ人への手紙 第一 4：9～10

その結果として、神のみこころにより、喜びをもってあなたがたのところへ行き、あなたがたの中で、ともにいこいを得ることができますように。

ローマ 15：32

気持ちを盛り上げてくれる人と話をするのは嬉しいものです。パウロは、そういう人たちをとってもありがたく思い、書簡の中で幾人かの名前をあげているほどです。

『ステパナとポルトナトとアカイコが来たので、私は喜んでいました。なぜなら、彼らは、あなたがたの足りない分を補ってくれたからです。彼らは、私の心をも、あなたがたの心をも安心させてくれました。このような人々の労をねぎらいなさい。』
(コリントⅠ 16：17～18)

『私はあなたの愛から多くの喜びと慰めを受けました。それは、聖徒たちの心が、兄弟よ、あなたによって力づけられたからです。』(ピレモン7節) 『そうです。兄弟よ。私は、主にあって、あなたから益を受けたいのです。私の心をキリストにあって、元気づけてください。』(ピレモン20節) 『オネシポロの家族を主があわれんでくださるよう。彼はたびたび私を元気づけてくれ、また私が鎖につながれていることを恥とも思わず、ローマに着いたときには、熱心に私を捜して見つけ出してくれたのです。——かの日には、主があわれみを彼に示してくださいますように——彼がエペソで、どれほど私に仕えてくれたかは、あなたが一番よく知っています。』
(テモテⅡ 1：16～18)

これらの人々は、パウロの日々の生活の役に立つことをし、励ましの言葉をパウロにかけました。この人たちがパウロや他の人たちに良い影響を与えたのも納得できます。これが教会に積極的に参加すべき最大の理由の一つです。私たちの霊を元気づけてくれる人に何度も会うことができるからです。そして、そのあとはどうするか？ 私たち自身が、誰かの霊を元気づける人になることです！

讃美歌 Ⅱ83

祈り 父よ。私の霊を元気づけてくれる兄弟、姉妹たちを感謝いたします。私たちの霊が元気づけられると同時に、私たちも他の人の霊を元気づけられますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

デイビッド・ギブソン
テキサス州 コマース

12月5日(火)

茨の冠

聖書朗読 ヘブル人への手紙 2:9

ただ、御使いよりも、しばらくの間、低くされた方であるイエスのことは見ています。イエスは、死の苦しみのゆえに、栄光と誉れの冠をお受けになりました。その死は、神の恵みによって、すべての人のために味わわれたものです。

ヘブル 2:9

英国で戴冠式が執り行われようとしている時、私はこれを書いています。チャールズ3世の戴冠式を世界中の数百万の人々が見ようとし、王国中の人たちがお祝いの準備をしています。戴冠式で使われる聖エドワードの王冠は、13世紀より伝統的に英連邦王国の君主たちに用いられてきました。その王冠は22カラットの金でできていて、白貂（しろてん）の縁取りがあり、444個の宝石、半宝石が据えられています。チャールズ国王は、壮観さと気高さの中で王になることでしょう。

それと比較して、私たちの生ける神のひとり子イエス様の場合は、ご自分の天国の王冠を、犠牲と恥と辱めという卑しい冠と交換されたのです。イエス様の頭上に置かれた王冠は茨の冠でした。受けるべき名誉も栄光もお受けになることはありませんでした。イエス様は、殴られ、排斥され、唾をかけられ嘲（あざけ）られ、最後には十字架にかけられたのです。なぜでしょうか。

『しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を明らかにしておられます。』（ローマ 5:8~10) どうか地球上の全ての人々が、イエス様が王の王であり、主の主であられることを知るようになります。ローマ人への手紙の14章11節には、こう書かれているからです。『主は言われる。わたしは生きている。すべてのひざは、わたしの前にひざまずき、すべての舌は、神をほめたたえる。』

讃美歌 136

祈り 親愛なる父よ。イエス様が天国であなたの右に座しておられるのを知っています。イエス様は王の王であり、主の主です。イエス様の御名をほめたたえ、受けるべきご栄光を帰させていただくことを楽しみにしています。私たちのために支払ってくださった代価を忘れません。イエス様のお名前によって。アーメン。

ユニー・シンプキンズ・トーマス
ケンタッキー州 マウント・ワシントン

12月6日(水)

多文化の中で生きる

聖書朗読 ヘブル人への手紙 11:24~26

彼は、キリストのゆえに受けるそしりを、エジプトの宝にまさる大きな富とと思いました。彼は報いとして与えられるものから目を離さなかったのです。

ヘブル 11:26

私は宣教師の両親の息子として日本で生まれ、大宣教命令（訳注：イエス・キリストが自らの教えを全世界に広めるよう命令したことを指す。）の実際の働きを直接見ながら育ちました。しかし、10代にアメリカに渡った時、時々寂しさを感じたものです。それは周りに私と同じように育った人がいなかったからです。私がよく知っている国の話をしたくてたまらないのに、誰も興味や関心を持ってくれませんでした。これは“サード・カルチャー・キッズ”（訳注：第三文化の子ども。両親の移住のために、出生国から長期間離れて生活する若者を指す。）がよく持つジレンマであり、どこの国の文化にもじっくりこないのが、サード・カルチャー・キッズなのです。今日の聖書朗読箇所には、モーセが彼の育った異国の地で神の道に従う選択をしたことが記されています。何故、彼はそういう選択をしたのでしょうか。ヘブル人の苦しみを理解し、彼らの視点から人生を見たからです。

私もモーセと同じように、自分の視点を変えることが大切なのではないかと考えました。宣教師の子どもであることを不利なことと見ずに、有利なことだと考えると、私の経験を他の人を助けることに繋げることができます。自分の経験や自分の置かれた環境を悲しむ代わりに、それを役立たせる選択をすることができます。私たちは日々何らかの選択を迫られます。行き場がないと悲観して、ふてくされる選択もできますし、神様が明らかに導いてくださっている道を選択することもできるのです。

讃美歌 II172

祈り 父よ。私の周りの人たちが、私が持っているクリスチャンとしての視点を理解することができなくても、いつもあなたの道を選び、真実を教え、罪の多いこの世で輝く光であり続けさせてください。イエス様のお名前によって。アーメン。

スティーブン・キャレル
アーカンソー州 ボールド・ノブ

12月7日(木)

通りすがりの旅人

聖書朗読 ヨハネの手紙 第一 2:15-17

彼らは、知らない。また、悟らない。

彼らは、暗やみの中を歩き回る。

地の基は、ことごとく揺らいでいる。 詩篇 82:5

旅人が有名なラビ(訳注:ユダヤ教指導者)が住んでいる地方を通過した時の話です。そのラビを尊敬してやまない旅人は、ご自宅を訪問できないかと尋ねました。まもなく、いつでもいらっしゃいとのお返事をもらいました。

ワクワクしながら、その若い旅人はラビの家に着きました。一部屋だけの簡素な家に着くや、中に入るように言われました。なんと家の中にはテーブルとランプと簡易ベッドとたくさんの本しかありません。驚いた彼はラビに訊きました。「先生、これ以外の家具はどこにあるのですか。」すると、ラビは、彼にこう訊き返しました。「あなたの家具はどこにありますか。」面喰らった旅人は答えました。「私の家具ですか。私はただの通りすがりの旅人です。」その時、賢いラビはこう言いました。「私もです。」

私たちは、この世が私たちの住まいではないということを忘れがちです。お金や有名になること、家族や権力闘争、もしくは人生そのものに没頭してしまうと、自分が何者であるかということを見失ってしまいます。この世は私たちの住まいではないのです。

讃美歌 II173

祈り 親愛なる主よ。この世が私たちの住まいではないということを思い出させてください。私はただの通りすがりの旅人だということを覚えていられますように。来たるべき都(みやこ)に焦点を当てることができますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

ジェフ・ダン

テキサス州 ハンツビル

12月8日(金)

畏敬の念に打たれる

聖書朗読 黙示録 4章

地の果て果てに住む者も

あなたの数々のしるしを恐れます。

あなたは、朝(あした)と夕べの起こる所を、

高らかに歌うようにされます。 詩篇 65:8

1838年から1842年にかけて、ウィリアム・レイノルズは、アメリカ合衆国から派遣されて探検および測量遠征に出かけ、その壮観な眺めを航海日誌に記しました。南極とオーストラリア大陸の中間地点で、彼は夕暮れ時にオーロラが水平線に向かって色とりどりに光を放っているのを見ました。南西方向に目をやると、夕日が沈んでいく空に虹が架かっていました。「これらを描かれたのは神の指だ。」と彼は日誌に書いています。

今日の聖書箇所では、以下のようなことが書かれています。神様の御座の周りには、4つの生き物がいて、聖なる、主なる、全能者なる神様をたたえ、永遠の存在であられることを言い続けました。4つの生き物の捧げる熱心な礼拝が周りに伝わり、24人の長老たちも加わり、神様の創造のみわざをたたえました。彼らは、神様が絶対的な権力を持つお方であることを認め、自分たちの冠を御座の前に投げ出しました。これらの御使的な生き物たちは、神様を礼拝するために造られた訳ではありませんでしたが、神様がどんなお方か、神様が何をなさったかを知ったがゆえに、礼拝せざるを得ませんでした。畏敬の念に打たれたのです。

私たちは、時折、情熱的に、私たちの崇高な神様に出会う必要があります。海辺でも、山でも、あなたの庭でも、顕微鏡を覗いてでも、ソファに座って聖書を読んでいる時でもいいでしょう。今していることを一旦止めて、神様のことを熱心に考えてください。神様に畏敬の念を持ってください。神様をほめたたえてください。神様に感謝してください。神様が超越した存在であることを認め、膝をかがめて礼拝してください。神様はそれらを受けるに値するお方です。

讃美歌 II188

祈り 私たちの聖なる神様。あなた様の存在のゆえに、あなた様を愛しています。あなた様の卓越した存在をさがめます。もっとはっきりあなた様を見ることができるよう。涙を持って、あなた様の素晴らしさを告白できますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

マイケル・オニール

フロリダ州 タイタスビル

12月9日(土)

神様が生きておられるから

聖書朗読 黙示録 21:1~7

しかし、私たちは、私たちが愛してくださった方によって、これらすべてのことの中にあっても、圧倒的な勝利者となるのです。

ローマ 8:37

病院の待合室にいますと、2人の女性の話し声が耳に入ってきました。どうやら片方の女性は、ガンの治療をその年に何度も受け、受診を待っているようでした。良い結果が聞けると良いなと思っているようでした。もう片方の女性は、とても心配そうにこう言いました。「私だったら、あなたが経験したようなことには耐えられないわ。どうして、そんなに平気でいられるのですか。」ガンの治療を受けていたという女性は、こう答えました。「家族や友人のサポートをたくさん受けたの。でも、聖書を読むことが一番助けになったわ。この病気が私のからだに何をしようとも、私はイエス様によって勝利者なんだって学んだの。」

この女性が、イエス様との親しい関係によってのみ得られる自信を持っていることは明らかでした。私は、どんな状況になっても彼女のようにになりたいと思いながら帰路に着きました。私は健康で、歳も若いです。もちろん、私は彼女と同じように主にあって生きていきたいと心から思っています。医者も、精神科医も、教師も、真の自信を持って人生を生きるために何が必要かを教えてはくれませんが、私たちを取り巻く環境がいかなるものであっても、私たちの希望と信仰は神様にあります。

讃美歌 イエスがいますから Because He lives

祈り 親愛なるお父様。私たちに必要なものをすべて、いつも与えてくださいまして、ありがとうございます。イエス様のお名前によって。アーメン。

ジェシカ・ブリッジポート

ジョージア州 アトランタ

12月10日(日)

従順によって得られる力

聖書朗読 マルコの福音書 1:9~15

わたしは、自分からは何事も行うことができません。ただ聞くとおりにさばくのです。そして、わたしのさばきは正しいのです。わたし自身の望むことを求めず、わたしを遣わした方のみこころを求めます。ヨハネ 5:30

マルコの福音書の中では、この聖書箇所ですべて初めてイエス様が登場します。イエス様は、いとこのヨハネからバプテスマをお受けになりました。イエス様にそうさせまいとしたヨハネに対して、イエス様は、『すべての正しいことを実行する』ためであると説明されました。(マタイ 3:15) イエス様の目的は、神様のみこころを成し遂げることであり、神様は御子の従順をはっきりとお認めになりました。神の御霊が目に見える形でイエス様に下り、神様がイエス様を愛する御子と認められる声が聞こえました。

それから、イエス様はまた神様に従い、悪魔の試みを受けるため、御霊に導かれて荒野に上っていかれました。マルコは語りませんが、私たちは、サタンが何をしようとしているのか知っていますし、イエス様が、父なる神様に従い続けることによってのみ、悪魔の罠を避けられたことを知っています。イエス様はサタンの誘惑に対して、ご自分の考えを持ってではなく、神様のみことばを持って応答されました。(マタイ 4:1~11)

今や、イエス様はサタンに打ち勝って、神のみこころを行なうことにより、神の国と神の義を全うされました。そういうわけで、イエス様はこの世に御国(神様がご支配している場所)の到来を宣言し、悔い改めを呼びかけたのです。神様は、私たちにも御国が近づいたことを宣言し、他の人たちに悔い改めるようにお命じになっています。そして、それは、私たちが何かすばらしいことを成し遂げたからではなく、私たちがただこの世をお造りになった創造主である神様を、そして全世界をご支配しているお方に従っているからなのです。また、私たちが、神様のご支配の中で誠実に生きていくこと、神の愛のうちに生きることによってこの世に神の御国を表わすことが出来るのです。

讃美歌 90

祈り 父よ。私があなた様に従順でありさえすれば、他の人をもっとも良く教えることができるのだと思い出させてください。イエス様の御名前によって。アーメン。

スティーブン S・レムリー
編集者